

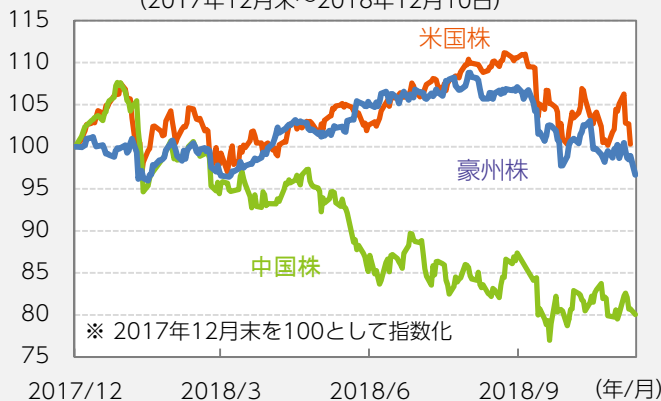
足もとの豪州株式の投資環境について

豪州株式は軟調に推移、金融セクターがマイナス寄与

- 2018年の豪州株式は、9月までは中国株の下落に引きずられることなく概ね堅調に推移していましたが、10月以降は、米国株式が相場の過熱感から急落したことや、米中貿易摩擦の高まりを受けて軟調に推移しました（左図）。
- 豪州国内に目を向けると、豪州株式のセクター別パフォーマンスは、年初来で金融セクターが11.6%の下落と軟調に推移しました。金融セクターは豪州株式全体の33%以上を占め、パフォーマンスを大きく押し下げる要因となりました。

【豪州株式の年初来の推移】

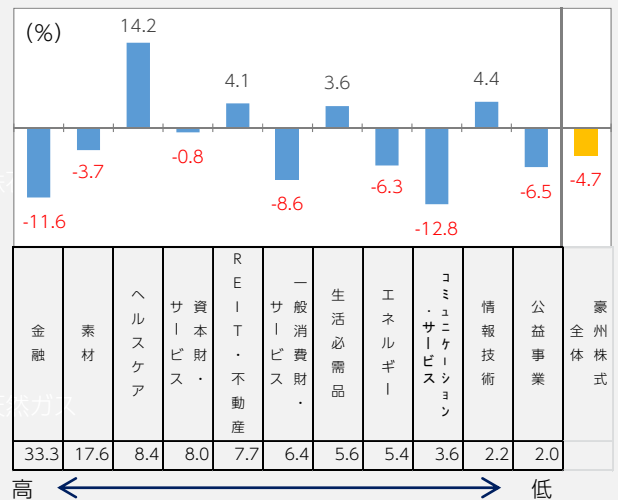
(2017年12月末～2018年12月10日)



(出所) ブルームバーグ、配当込みベース
※ 米国株：S&P500種指数、豪州株：S&P/ASX200指数、
中国株：上海総合指数

【豪州株式のセクター別騰落率】

(2017年12月29日～2018年10月26日)



豪州株式の
セクター別
比率 (%)

(出所) ブルームバーグ、ファクトセット、配当込みベース

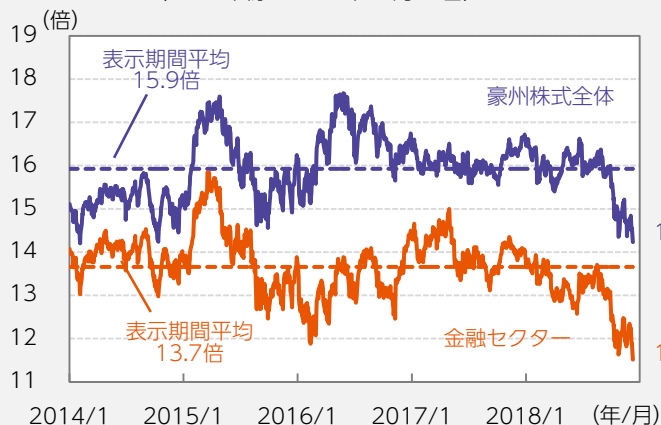
※ 豪州株式全体：S&P/ASX200指数 ※ セクター別比率は2018年11月末時点

投資家心理の悪化から金融セクターのバリュエーションは割安度高まる

- 金融セクターが年初来で軟調に推移している主な理由は、不正行為に対する王立委員会による調査への懸念を背景とした投資家心理の悪化と考えられます。ただし、委員会による勧告は規制やコンプライアンスの強化へつながる可能性が高いものの、金融業界の構造を劇的に変えるものとは見ていません。
- バリュエーション面では、12月10日現在、豪州株式全体の予想PERは14.2倍、金融セクターは11.5倍と、いずれも過去5年間で最低水準付近にあります。一方、一株当たり利益 (EPS) は2018年から2020年に向けてプラスの伸びが予想されています。今後は王立委員会の最終報告書が公表される2月に向けて、金融セクターの経営・管理体制が改善されれば、割安感のある現在のバリュエーションが見直される動きが広がることを期待されます。

【豪州株式全体と金融セクターの予想PER】

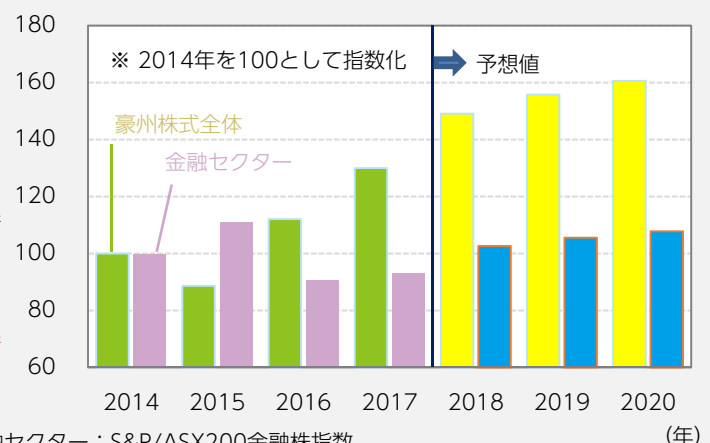
(2014年初～2018年12月10日)



(出所) ブルームバーグ ※豪州株式全体：S&P/ASX200指数、金融セクター：S&P/ASX200金融株指数

【豪州株式全体と金融セクターの一株当たり利益】

(2014年～2020年)



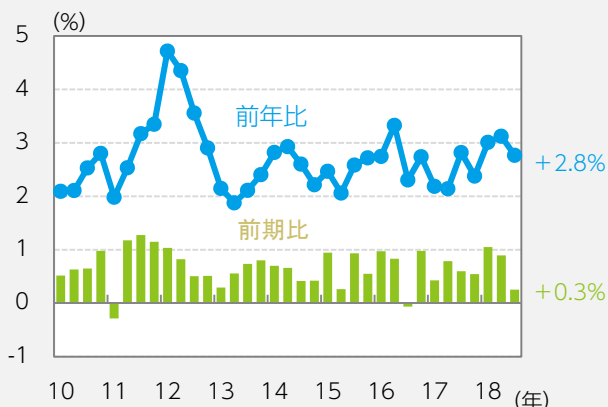
(年)

豪州の経済および雇用環境は堅調を維持

- 豪州の2018年7-9月期の実質GDP成長率は前年同期比で+2.8%と、4-6月期の同+3.4%から減速したものの、引き続き堅調な水準を維持しています（左図）。民間の消費および投資が弱含んだことが減速の主因となった一方、公的部門の投資は前期比+3.4%と力強い伸びを示しました。
- 豪州の2018年第3四半期の賃金総額は前年同期比+4.3%と、2013年以降で最も高い水準にあります（右図）。失業率についても2015年以降低下傾向にあり、直近は5.0%と2013年以降の最低水準にあることから、賃金総額は引き続き堅調な伸びを示すことが期待されます。

【豪州の実質GDP成長率】

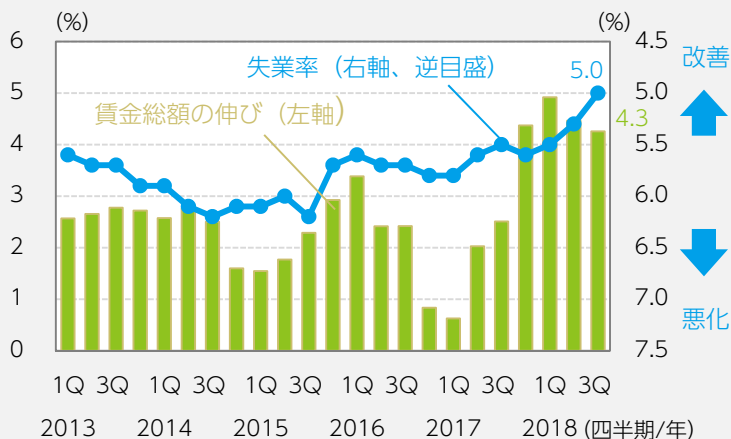
(2010年第1四半期～2018年第3四半期)



(出所) オーストラリア統計局

【賃金総額の伸びと失業率】

(2013年第1四半期～2018年第3四半期)




(出所) CEIC、ブルームバーグ、四半期ベース


※ 賃金総額の伸びは2013年第1四半期～2018年第3四半期

TOPIC

統計データでみる「豪州株式（円ベース）の投資タイミングと損益」

ここでは、2000年以降の毎月末を開始時点として、3年間豪州株式（円ベース）に投資した場合の損益をまとめました*。その結果、投資開始時の豪ドル・円レート水準によって、投資損益の傾向が大きく異なることが見て取れます。

例えば、1豪ドル=80円を切る水準で投資を開始した場合では、すべて（80回/全80回）のケースでプラス収益となっています（の部分）。

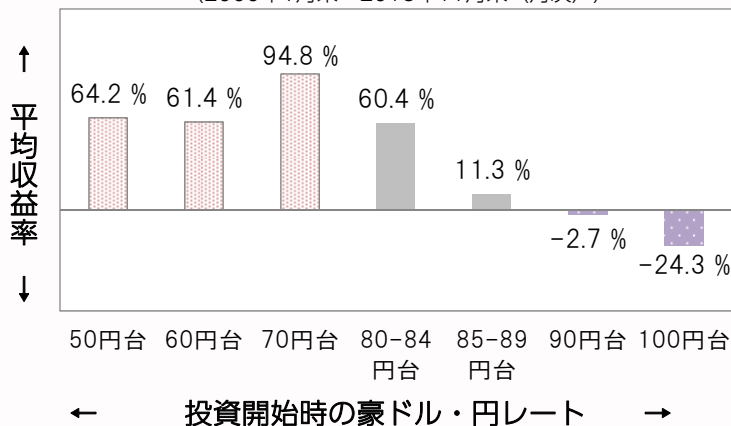
一方、1豪ドル=90円以上の水準で投資を開始した場合では、3年後では半分以上（27回/全51回）のケースがマイナス収益となっています（の部分）。

* 2000年1月～2015年11月の各月から豪ドルに3年間投資した、191のケースの投資損益を集計

※ 上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。

豪州株式（円ベース）に3年間投資した場合の平均収益率（為替レート別）

(2000年1月末～2018年11月末（月次）)



| 3年間投資 | 50円台 | 60円台 | 70円台 | 80-84円台 | 85-89円台 | 90円台 | 100円台 |
|--------------|------|------|------|---------|---------|------|-------|
| ケース数 (計191回) | 5回 | 35回 | 40回 | 31回 | 29回 | 41回 | 10回 |
| プラス収益の回数 | 5回 | 35回 | 40回 | 29回 | 18回 | 23回 | 1回 |
| 勝率 | 100% | 100% | 100% | 94% | 62% | 56% | 10% |

(出所) ブルームバーグ

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、レグ・メイソン・アセット・マネジメントの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>